

園友会広報誌

# 院 友

いんゆう

平成30年1月号

発行所：社会福祉法人福島愛育園園友会事務局  
〒960-8156 福島市田沢字躑躅森16  
TEL 024-549-0596 FAX 024-549-6101

福島愛育園ホームページアドレス  
URL <http://f-aiikuen.jp>

## 第3回チャリティゴルフコンペ

### 平成29年11月6日 福島ゴルフ倶楽部民報コース

第3回福島愛育園チャリティゴルフコンペが平成29年11月6日に福島ゴルフ倶楽部民報コースで開催されました。59名の参加者が、福島の未来を担う子ども達の支援に賛同して67,719円の浄財をお受けいたしました。皆様の多大なる御協賛を賜り心よりお礼を申し上げます。園友会 役員一同

後 援

福島民報社様 ラジオ福島様

協 賛

安藤組様 安斎建設様 いちい蓬莱店様 円通寺様 鈴木石油商会様 杉妻自動車学校様 高橋緑花園様  
田沢地域活性化推進協議会様 長秀院様 トヨネスト様 日東物産様 福島中央ライオンズクラブ様  
福島県中央計算センター様 フジゴルフガーデン様 やない製麺様 ユアテック福島支社様



## 平成29年度支援事業

福島の未来を担う子ども達の健やかな成長の支援ため、平成29年度第2回役員会で贈呈を行いました。



### 職員からの感謝の言葉

- 贈呈後すぐに、遊具で遊ぶ子ども達の楽しそうな顔を見て、私もとても嬉しい気持ちになりました。皆様の御支援に感謝し、長く、大切に使用致します。(大槻)
- いつもたくさんの御支援をありがとうございます。福島愛育園の理念である「仁慈隠愆」という言葉がプリントされた素敵なスカーフを頂きました。子ども達には、このスカーフを身につけて更に充実した活動を行って欲しいと思います。(松崎)
- いつも御支援頂き、ありがとうございます。子ども達はスカウト活動にて新しいネッカチーフを身につけることをとても楽しみにしています。(大内)

## 七夕会

平成29年8月7日に6年ぶりに七夕会が催されました。



### 職員からの感謝の言葉

- 6年ぶりに開催されるということで、七夕会を知る子どもたちは特に張りきっていました。私の担当する家ではフランクフルトを出店しましたが、子どもたちの意見もあって、大人気のミニオンのキャラクターのお面をつくり、身につけました。団結力も高まり、全員でとても楽しい思い出をつくることができました。(小野田)
- 子どもたちから「七夕会ってみんなで出店出すんだよ!」と話題になっていた七夕会は、実行委員の子どもたちが主になって運営をして、とても楽しい思い出となりました。普段の生活場面では見られなかった子どもたちの姿も見る事が出来嬉しくなりました。(伊藤)
- 私の担当している家では焼おにぎりの出店を担当しました。担当している子ども達が実行委員として活躍しており、その姿を見てとてもうれしくなると同時に成長を感じる機会になりました。次回開催も楽しみです。(寺島)

# 平成29年度食農体験活動

今年からグラウンドの畑が2つになりました。



## 職員からの感謝の言葉

- 園生活の中で、実際に食材や調理の場を目にすることの少ない子どもたちにとって、自分たちで収穫したものを頂くということは、とても貴重な体験になっています。(佐藤)
- 新鮮なかぶや大根、白菜に大きな口を開けてかぶりつく子ども達の姿はとても可愛らしいものです。嬉しいのは、野菜が苦手な子どもも、美味しいと話してくれることです。子どもにとっても私にとっても貴重な体験となっております。(渡辺)
- グラウンドの畑で収穫した作物を使ったメニューを日々の食事に取り入れています。旬のものをその時期に収穫して食べることができるのは、季節の野菜を知るとも良いきっかけにもなっています。(渚)



# 福島愛育園もちつき大会

今年も田沢地域活性化推進協議会様との共催で平成29年12月16日に行いました。今年も大盛況でした。



## 職員からの感謝の言葉

- 地域の方と一緒に育てた野菜やつきたてのおもちをみんなで食べれる事の喜びやおいしさは格別です。子ども達にとっても素晴らしい「食育」と「地域の方との交流の場」になっています。(後藤)
- 子ども達は毎年グランド畑の農作業ともちつき大会を通した地域の方との交流をととても心待ちにしています。自分達も一緒についたお餅をととても喜んで食べていました。子ども達の笑顔があふれた楽しいひとときになりました。(景山)
- グランド畑で農作業を体験は、種まきから収穫、調理食事まで一貫して体験できる機会を学びながら参加しております。自分達の手で収穫した野菜は特別な思いがあり、いつも収穫祭の後には、とれた野菜がいつ献立に出るか楽しみに心待ちにしております。(志田)

## 編集後記

平成29年度も、皆様のご指導とご支援により大変充実した活動になりました。今回は、日頃から大変感謝をしている職員のコメントも付け加えさせて頂きましたので、ご一読いただければと思います。

写真は、昨年(平成28年)の12月8日に、田沢町石内地区の伝統行事である「御熊野講祭り」に声をかけて頂き参加させて頂いた様子です。

「御熊野講祭り」は、古くは夜12時に男性が集まり、それぞれに分担してお餅(くるみやあんこ等)とお汁、漬物、大根おろしを調理します。座敷で食事を頂く前に塩と水で口を清め、熊野講の掛軸を拜んで、神前に供えた大根と半練餅を食べます。その後各自持参した御膳で料理を頂きます。食事を終えると直ぐに、神前のもち・残り火・敷きワラ、白の洗水を持って、屋敷外れの立ち木の下に全員で拜んで納める。帰って家に入る前には塩水を飲み干し、一連の講の行事が終了です。(田沢町会HPより引用)

江戸時代より田沢地区で続く格式ある伝統行事に参加させて頂き、少しずつ形を変えながら「御熊野講祭り」が行われているそうですが、伝統を継承する素晴らしさと地域の繋がりを感しました。

今年で創立125周年を迎える社会福祉法人福島愛育園、そしてそれを支えた園友会ですが、これからも地域皆様と共生し、職員一同伝統を受け継ぎたいと思います。

齋藤 秀紀

